

刈り取り適期

適期を逃すと青米や胴割米の増加につながりますので、適期刈り取りに努めましょう。

①出穂後の日数	○早生種（あきたこまち）…………… 出穂後45日前後 ○中晩生種（ゆめおばこ・めんこいな）…… 出穂後50日頃																																										
②出穂期別積算気温到達予想日	出穂後の日平均気温の積算によるもので、次の積算温度に達した頃が刈り取り適期とされています。 ○早生種（あきたこまち）…………… 950～1,050℃ ※1,100℃を超えると胴割れ増加 ○中晩生種（ゆめおばこ・めんこいな）…… 1,050～1,150℃ ※1,200℃を超えると胴割れ増加 出穂期別積算気温到達日 本年：大曲 2011年 平年：大曲 平年																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>出穂日</th> <th>950℃到達日</th> <th>1000℃到達日</th> <th>1050℃到達日</th> <th>1100℃到達日</th> <th>1150℃到達日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月3日</td> <td>9月12日</td> <td>9月14日</td> <td>9月17日</td> <td>9月19日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>平年</td> <td>9月13日</td> <td>9月16日</td> <td>9月18日</td> <td>9月21日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>8月6日</td> <td>9月16日</td> <td>9月19日</td> <td>9月22日</td> <td>9月24日</td> <td>9月27日</td> </tr> <tr> <td>平年</td> <td>9月17日</td> <td>9月20日</td> <td>9月23日</td> <td>9月26日</td> <td>9月29日</td> </tr> <tr> <td>8月9日</td> <td>9月20日</td> <td>9月23日</td> <td>9月26日</td> <td>9月29日</td> <td>10月2日</td> </tr> <tr> <td>平年</td> <td>9月21日</td> <td>9月24日</td> <td>9月27日</td> <td>9月30日</td> <td>10月3日</td> </tr> </tbody> </table>	出穂日	950℃到達日	1000℃到達日	1050℃到達日	1100℃到達日	1150℃到達日	8月3日	9月12日	9月14日	9月17日	9月19日	—	平年	9月13日	9月16日	9月18日	9月21日	—	8月6日	9月16日	9月19日	9月22日	9月24日	9月27日	平年	9月17日	9月20日	9月23日	9月26日	9月29日	8月9日	9月20日	9月23日	9月26日	9月29日	10月2日	平年	9月21日	9月24日	9月27日	9月30日	10月3日
	出穂日	950℃到達日	1000℃到達日	1050℃到達日	1100℃到達日	1150℃到達日																																					
	8月3日	9月12日	9月14日	9月17日	9月19日	—																																					
平年	9月13日	9月16日	9月18日	9月21日	—																																						
8月6日	9月16日	9月19日	9月22日	9月24日	9月27日																																						
平年	9月17日	9月20日	9月23日	9月26日	9月29日																																						
8月9日	9月20日	9月23日	9月26日	9月29日	10月2日																																						
平年	9月21日	9月24日	9月27日	9月30日	10月3日																																						
<p>気温が高めに推移した場合は上記積算気温到達日より早く刈り取り期をむかえますので注意が必要です。また、早生種で1,100℃、中晩生種で1,200℃を超えると胴割粒が急増しますので、刈り遅れに注意しましょう。</p>																																											
③籾の熟色	<p>通常年では、葉や穂首が緑色であっても、籾の黄化程度が90%（黄白＋黄色）の頃が適期となります。しかし、登熟期間が高温な場合は、籾の黄化程度が85%を超えると胴割れ率が10%を超えるとされていますので、籾の黄化程度80%から刈取適期と見なします。</p> <p>年により変動がありますが、主軸の上から5番目の枝梗まで黄化した頃を適期と見なします。</p>																																										

コンタミ（異品種混入）対策

異品種混入はJAS法違反です！

店頭で販売される玄米（精米）は生鮮食品に分類され、名称、原料玄米（産地・品種・産年・使用割合）、内容量、精米年月日、販売者の表示が必要とされています。したがって、製品に異品種が混入した場合はJAS法違反に問われますので、複数品種を作付している場合は生産者側でのコンタミ対策も必要となります。

- 収穫前には、コンバイン・乾燥機・籾摺機・選別機の清掃を徹底する。
- コンバインは、品種切り替え時には籾が残留しないように各部の清掃を徹底する。
- コンバイン袋を使用している場合には、袋の内部に籾が残留していないことを確認する。
- 乾燥機搬入時には、トラック荷台やタイヤの清掃を心がけ、乾燥機ホッパー投入時に籾がこぼれた場合には清掃を徹底する。

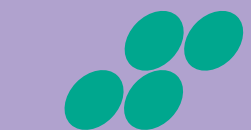


JA秋田おぼこ

農業技術情報

No. 6

平成23年9月発行



安心のネットワーク
NOSAI仙北

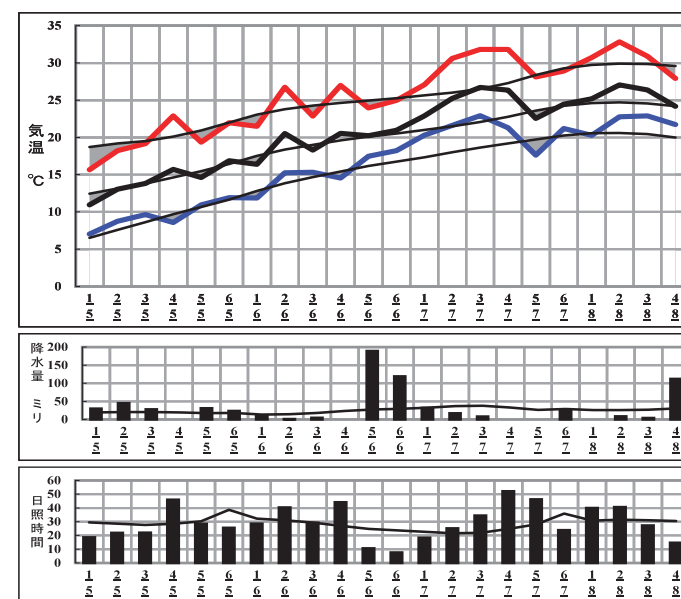
発行/秋田おぼこ農業協同組合
仙北農業共済組合

監修/仙北地域振興局農林部農業振興普及課

適期刈り取りと低温二段乾燥で、「秋田おぼこ米」の最終仕上げを

出荷前に生産管理シートの記帳・提出をお願いします。

気象経過及び予報



東北地方1ヶ月予報

向こう1ヶ月の平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

東北地方3ヶ月予報

9月は平年に比べ晴れの日が多い見込です。

気温は平年並または高い確率がともに40%です。

降水量は平年並または少ない確率がともに40%です。

10月の気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

水稻の生育状況

8月19日現在（仙北地域振興局農林部農業振興普及課）

	出穂期(月日)
本年	8月6日
平年	8月4日
平年比	晩2日
前年比	晩3日

- ・出穂前に生育が一時停滞し、あきたこまちの出穂期（穂の50%が出穂）は平年より2日程度遅くなりました。
- ・穂揃期（穂の90%が出穂）は8月9日頃とみられます。
- ・「ゆめおばこ」の出穂期は、8月9日頃とみられます。
- ・穂数は平年より少なめですが、m²当り籾数は概ね確保されています。
- ・稈長はやや短く、穂長はやや長くなっています。

今後の管理について

稲の管理も大詰めです。的確な管理で高品質米の生産を！！

- ・落水の時期は、概ね出穂後30日後とします。早期に落水すると葉色の低下、枯れ上がり、根の機能減退により登熟が妨げられ、収量、品質、食味が低下するので注意しましょう。
- ・防除対策情報第4号「カメムシ類の追加防除を確実に」～アカスジカスミカメの水田侵入量多い～が発表されました。スタークル剤等により2回目の薬剤散布（追加防除）を行いましょう（次ページ参照）。

病害虫対策 斑点米カメムシ類の追加防除を確実に!!

- ・本年はアカスジカスミカメの発生量が多くなっています。本種は圃場周辺の発生源から継続的に侵入してくるため、斑点米の多発が懸念されます。
- ・2回目の殺虫剤散布(追加防除)は、1回目の殺虫剤散布の10日後頃にスタークル剤(使用時期は収穫7日前まで)を畦畔を含めて散布します。

収穫に向けて シーズン前に作業機械の点検を必ず行いましょう。

○刈り取り前に以下の点についてチェックしましょう。

- ・エンジンオイル・冷却水はトラブルを防ぐためシーズン前に必ず交換しましょう。
- ・各部(脱穀部・選粒アミ・エアクリーナー等)の清掃を積極的に行いましょう。

	① ベルト・チェーン	チェック
チ	ひび割れ、すり減ったベルトは交換し、緩んでいる箇所の調整	レ
	チェーンのガタ、ローラの摩耗が大きいと切れる可能性があるので交換	レ
	かき上げ爪は左右に揺すって、ガタがある場合は交換	レ
エ	② 刈 刃	チェック
	ガタ、刃こぼれがないか点検(刈り株がトラ刈りになる場合は交換)	レ
ッ	刈刃と受刃との間隔(0.3mm)調整と摩耗が激しい場合は交換	レ
	③ 走 行 部	チェック
ク	主クラッチ・走行クラッチの切れ・遊び調整	レ
	クローラの伸び・損傷	レ
項	④ 電装品・油圧等の点検	チェック
	バッテリーの状態	レ
	油圧装置の作動状況	レ

○刈り取り時の注意事項

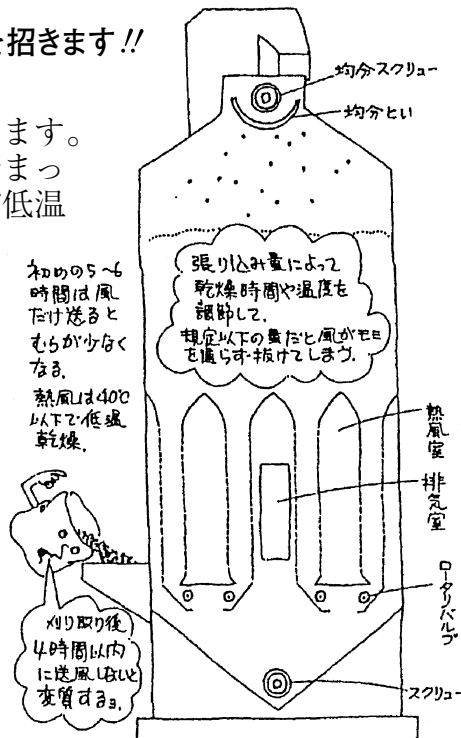
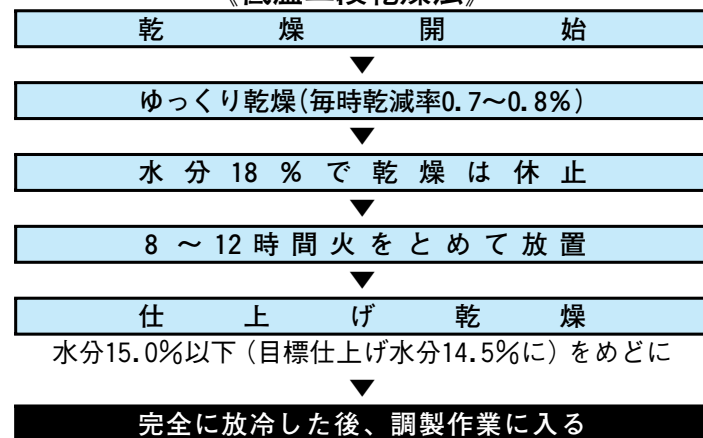
- ・収穫時刻は稲体が乾燥している午前10時～午後5時頃を目安にします。
- ・刈り取り品種が変わる場合にはコンタミ(異品種混合)を避けるため、籾搬送オーガ等の清掃をしてください。
- ・シーズン中は各部の点検やチェーン等への注油を怠らないようにしましょう。
- ・作業中のトラブルに際しては、必ずエンジンを止めてから点検作業に入るようにしましょう。
- ・雨天の直後や早朝の収穫は穀粒損失やコンバインの詰まりの原因となるので避けましょう。

乾燥作業 高水分籾の高温乾燥は食味低下を招きます!!

1. 美味しさの決め手は「低温二段乾燥」です!!

一般に高温で火力乾燥すると食味が低下しやすくなります。これは、お米のデンプン層にふくまれる脂肪の分解が始まって、貯蔵中の食味低下を招くためですが、高水分籾ほど低温で乾燥する必要があります。

《低温二段乾燥法》



2. 乾燥機のクセを把握しましょう

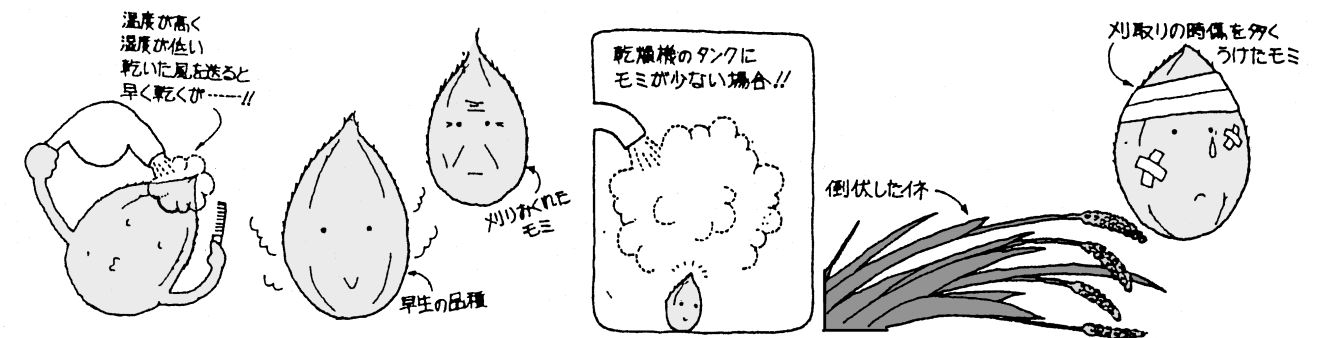
加熱乾燥が終了してから、放冷中に乾燥が進んだり、戻ったりします。これは保管中の建物・乾燥機の特性等の影響もありますが、最も与える影響の大きいものは乾燥籾に含まれる青米の混入率です。

《青米の混入と乾燥の進み方》

玄米100粒中の青米混入数	乾燥終了後の水分変化	乾燥停止設定玄米水分	乾燥終了水分値
11粒以上の時	乾燥が戻る(水分率が上がる)	14.5%	15.0%
6~10粒の時	水分変化が少ない	15.0~14.8%	15.0%
0~5粒の時	乾燥が進む(水分率が下がる)	15.5~15.3%	15.0%

3. 胴割米を出さない6つのポイント

- ① 乾燥は指定温度より少し下げた温度で行う。
- ② 一般に早生品種は胴割れしやすいので、適期刈り取りを実施する。
- ③ 刈り遅れた籾は胴割れが発生しやすいので、適期に刈り取りを実施する。
- ④ 乾燥機タンクに籾が少ない場合に発生しやすく、計画的作業を実施する。
- ⑤ 玄米水分18%以下からの乾燥温度には特に注意し、慎重に水分測定する。
- ⑥ 倒伏して泥に汚れた籾は、刈り取りから調製まで別扱いで早めの処理をする。



籾摺作業 肌ずれや籾混入に注意!!

- 籾摺機を水平に据え付けし、主軸の回転数を確認の上でロール間隔を1回通して脱ぶ率80~85%になるよう試し摺して調整します。
- 籾摺りロールの摩耗や片減りに注意し、必要に応じて交換します。
- 肌ズレは籾温や籾の含水率が高いほど発生しやすくなります。
- 登熟不良で未熟粒が多い場合、無理にロール間隔をせばめないこと。ロール間隔は標準にして脱ぶ部に詰まりを生じない程度に籾の供給量を調節します。

米選作業 整粒歩合80%以上の高品質米仕上げを!!

- 米選作業は籾摺作業と連結しての作業のため軽視されがちですが、被害粒・死米・未熟粒などの不良粒をより多く除去して整粒歩合を高める最終作業ですので、能率重視は禁物です。
- 高品質米に仕上げるために1.90mmのフルイ目を推奨していますが、玄米流量を多くしての作業は効果半減ですので、丁寧な作業を行いましょう。
- 集荷規格……仕上げ水分目標15.0%以下(目標仕上げ水分14.5%)、量目(紙袋)は皆掛重量30.5kg
- 高品質米の仕分けについて
 1. 高品質米の区分

整粒歩合80%以上の「1等A米」と、整粒歩合80%以上かつ玄米のタンパク値6.2以下の「1等S米」の2種類に仕分けします。
 2. 対象品種

あきたこまち、めんこいな、ひとめぼれ、ササニシキ、はえぬき、ゆめおぼこ含む8品種

作業事故に気をつけ、実りの秋を笑顔で迎えましょう。